
カラス

平岡れお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カラス

【Nコード】

N5935L

【作者名】

平岡れお

【あらすじ】

カラスと案山子の物語です

カラスは案山子に恋をした。

凜と佇み、ただただ一点を見つめる美しい姿に。

意を決し、カラスは案山子に会いに行く。

案山子は怪訝な顔をしてカラスにこう言う。

主人の畑になんの用ですか。

畑なんかに興味はないのに。

ただ君と仲良くなりたいたいだけなのに。

その後もめげずに畑に向かう。

その度、案山子は僕を追い返そうとする。

違うんだ。　　違うんだって。

ただ君のそばに居たいだけなんだ。

僕が鳥だからだめなのか。僕がカラスだからだめなのか。

でも、でも僕は空を飛ぶ事ができる。

ある日、カラスは勇気を振り絞って案山子の肩にとまる。

一日中、案山子の肩にとまる。

案山子が見る方を一緒に見る。

それ以外は何もせず。

案山子は気づいた。

その思いが嬉しかった。

それから、ずっと一緒に居た。

何もせず、案山子の肩にとまって同じ時間を過ごした。

二人とも、幸せだった。

「うーん、この桑山子じゃ、鳥を追い返せないようだな。」

次の日、新しい桑山子がそこに立っていた。

カラスは自分がカラスである事を憎み、

ただただ、夕暮れに泣いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5935/>

カラス

2010年10月9日07時43分発行